

大阪府環境保全基金

令和6年度基金活用事業の実績紹介



行こう、脱炭素社会へ。

一人一人の行動が未来に繋がる



節電



節水



育てる



アイドリングストップ



マイバッグ・マイボトル

令和6年度に実施した主な基金活用事業

※事業名横の<>内の金額は決算額

大阪・関西万博に向けて

カーボンニュートラル最先端技術の支援等



大阪・関西万博でのカーボンニュートラルに資する最先端技術の披露をめざし、開発・実証を行う事業者に対し、必要な経費の一部を補助しました。

カーボンニュートラル技術開発・実証事業<728,458千円>

環境・エネルギー先進技術について、令和5年度に作成した普及啓発コンテンツを用い、府民向けイベント等において、府民に広く発信・普及啓発を実施しました。

万博を契機とした環境・エネルギー先進技術普及事業<3,814千円>

脱炭素行動の推進

博覧会協会のEXPOグリーンチャレンジアプリや、連携協定を締結する事業者のアプリを活用し、削減目標を掲げてオール府民で達成をめざすキャンペーン「おおさか脱炭素アプリプロジェクト」を実施しました。府ダッシュボード活用により、その進捗等を可視化するとともに、府民向け啓発イベントを実施しました。

みんなでチャレンジ・ええ感じ!

おおさか 脱炭素アプリ プロジェクト

～自分ゴト・未来ゴトを大阪から世界へ～

府民の脱炭素行動促進・貢献量可視化事業<45,624千円>

万博のテーマと関連する健康や衛生などの分野の製造事業者等をを対象に、サプライチェーン全体での排出量の見える化や削減のための改善策の提案をモデル的に実施しました。

サプライチェーン全体のCO₂排出量見える化モデル事業<34,716千円>



サプライチェーン全体でのCO₂排出量イメージ(出典:環境省資料)

府民・事業者の行動変容の促進

消費者の脱炭素行動

小売事業者等が運営しているポイントシステムを活用して、CO₂排出が少ない商品・サービスを購入した消費者を対象に脱炭素ポイントを上乘せ付与する制度の普及に取り組みました。

環境配慮消費行動促進に向けた脱炭素ポイント付与制度普及事業<15,726千円>



大阪産(もん)を通じ、「食」とそれを支える「農とみどり」の分野で今すぐできる行動から脱炭素社会をめざす「Osaka AGreen Action」を推進する啓発イベントを実施し、カーボンニュートラルや大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの達成に取り組みました。

大阪産(もん)を活用した脱炭素化推進事業<14,785千円>



令和6年5月「大阪産(もん)マルシェ」会場風景



令和6年11月「おおさかもん祭り」会場風景

大阪産(もん)や有機農産物の普及取組とも連携し、大阪版カーボンフットプリント(CFP※)算定手法を活用した大阪産農産物へのラベル表示等による普及啓発を本格実施しました。また、同手法の算定対象分野を拡大し、農産物加工品や容器包装への展開を図りました。

脱炭素化に向けた消費行動促進事業<11,385千円>



※カーボンフットプリント (CFP) とは…

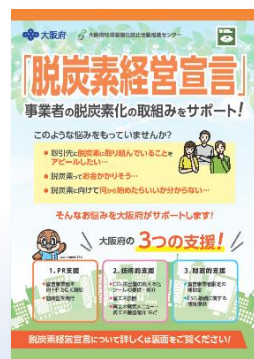
商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、商品やサービスにわかりやすく表示する仕組みです。

これにより、商品にかかるCO₂排出量を「見える化」することで事業者と消費者の間でCO₂排出量削減行動に関する「気づき」を共有できるといった効果が期待できます。

企業の脱炭素経営

脱炭素化を促進するセミナーなどを通じて脱炭素経営宣言登録制度の周知を行うとともに、商工会議所や地域の金融機関等の関係機関と連携して、事業者への働きかけを実施しました。

脱炭素経営宣言促進事業<3,453千円>

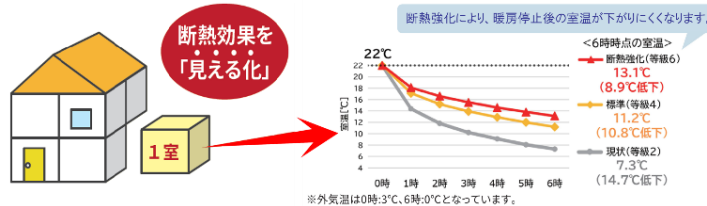


情報発信・普及啓発

ZEH(※)の普及啓発

府民・事業者の住宅省エネ化の検討機会の創出、理解向上に向け、建築関係団体の専門家等との連携を図りながら、断熱化による効果をわかりやすく見える化できるツール開発等を行いました。

府民・事業者の断熱性能理解向上によるZEH普及啓発事業<7,138千円>



※ZEHとは…

「Net Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の略語です。住宅の断熱性能と省エネ性能を高めたうえで、太陽光発電などによってエネルギーを創り出すことで、住宅の年間エネルギー消費量を正味でゼロ以下にすることを旨とした住宅のことです。

食品ロスの削減

食品ロスを学ぶパネルやゲーム等のツールを作成し、イベント会場や食品ロスを楽しく学べるポータルサイトにおいて、啓発や情報発信を行いました。

食品ロス削減行動推進事業<1,323千円>

日本全体の食品ロス量

472万トン



CO₂量に換算すると…

1,046万トン-CO₂

国民一人当たり 83kg-CO₂/人*

ZEVの乗車体験

ゼロエミッション車(ZEV)の乗車体験機会を府民に提供しました。また、自動車販売事業者(ディーラー)と連携して非常時にも役立つ給電機能等の体験キャンペーンを実施しました。

乗車体験等を通じたゼロエミッション車普及促進事業<5,434千円>

ゼロエミッション車(ZEV)の主な特徴

- ・ 走行時に二酸化炭素等の排出ガスを一切出さない
- ・ 走行時の騒音・振動が少なく静か
- ・ 電力を外部に取り出すことができ、非常時の電力源等として役立つ

大阪府の車両総台数3,572,189台のうちZEVは27,312台(0.8%)
【2023年度末】と低く、これからの普及促進が重要となっています。

令和6年度
9月から11月限定 / 話題の車に乗れちゃう!

<主催>
大阪府 X カーディーラー
おおさか電動車協会 及 サポートネット

ええこといっぱい!
ゼロエミッション車の
乗車体験
キャンペーン開催!!

大阪府では、府民のみなさまへゼロエミッション車(ZEV) (電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車)を体験いただくため、乗車体験キャンペーンを実施します!ぜひ各ディーラー店舗にお越しください!

ゼロエミッション車のええことって?
1. 環境にやさしい
走行中に排出ガスが出ないんですよ!
2. 静粛性
ガソリン車と比べて走行時の騒音が少ないですよ!
3. 災害時の給電に便利
停電時に非常用電源として活用することができます!

※キャンペーン実施
ディーラーについては
裏面を参照してください

豊かな大阪湾に向けて

保全・再生・創出

大阪湾の新たな保全・再生・創出活動について、各テーマに沿ったモデル事業を公募し、ノウハウ集を作成・活用することで、地域住民や府民団体、企業等に広くPRしました。

「豊かな大阪湾」保全・再生・創出活動推進事業<5,621千円>



藻場創出の適地調査や効果的な創出方法を実証するとともに、万博等の機会を捉えて、ブルーカーボン生態系の重要性や大阪湾における取組について情報発信するための映像コンテンツ等を作成しました。

大阪湾奥部ブルーカーボン生態系創出支援事業<7,600千円>

資源循環の取組

プラスチックごみの削減

日常生活で実践している、ほかさん（捨てない）アイデアや3Rの取組を募集する、「ほかさんstyleコレクション」を実施しました。

一般の部124件・学校の部17件の取組事例の応募があり、アイデア集として発信し、府民のみなさまへの啓発を行いました。

使い捨てプラスチックごみ対策推進事業<5,334千円>



「おおさかマイボトルパートナーズ」の会議の開催などを通じ、マイボトルの利用・普及を行いました。

- ・マイボトルで給水できる無料の給水機などの普及
- ・パートナーズ有志で大阪・関西万博に給水機を設置

おおさかプラスチックごみゼロ宣言推進事業<2,685千円>

大阪府環境保全基金とは

皆様からいただきましたご寄附は基金に積み立て、脱炭素社会の実現に向けた事業や、環境保全活動支援等の事業に活用させていただいています。

寄附者のご紹介（令和6年度）

【五十音順】

アコム株式会社
アンカーテクノロジーズ株式会社
株式会社伊藤園
入江電気興業株式会社*
巖本商事株式会社
株式会社インターベース*
auエネルギー&ライフ株式会社
株式会社オークワ
川瀬産業株式会社**
関西防水管理事業協同組合
株式会社関西みらい銀行
株式会社近鉄・都ホテルズ
株式会社KR建設*

株式会社コレックホールディングス
株式会社サンジュウナナド
東阪工業株式会社*
株式会社日本総合研究所
三菱UFJアセットマネジメント株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJニコス株式会社
株式会社未来屋書店

* 関西みらい銀行私募債を活用したご寄附

** 紀陽銀行私募債を活用したご寄附

引き続きご支援のほどよろしく願いたします。

寄附のお申し込み方法

詳しくはWebサイトで



©2014 大阪府もずやん

インターネットから
「大阪府環境保全基金」のホームページにアクセスいただき、

- (1) 電子申込
- (2) 金融機関窓口申込

のいずれかをお選びいただけます。
寄附申込書は大阪府環境保全基金ホームページから
ダウンロードいただけます。

お問合せ

大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課
大阪府住之江区南港北1丁目14-16 大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）22階
電話番号 06-6210-9549 ファクシミリ番号 06-6210-9259